

松江だんだん

会報第15号

【令和6年度】



《 松江 食と特産品 》

近畿松江会

会歌 「ふるさと松江」

作詞 近畿松江会

- | | | | | | |
|---|--------------------|--------------|----|---|---------------|
| 1 | しんわ かた
神話は語る | さだかか
佐陀加賀 | 4 | ぼたんかお
牡丹薫る | やつかし
八束路 |
| | えんうれ
ご縁嬉し | やえがき
八重垣 | | しえん
紫烟けむる | なかうみ
中海 |
| | くまのかもす
熊野神魂も | ちんざ
鎮座して | | えびす
恵比寿 ショコホイ | ごほんまつ
五本松 |
| | だんだん まつえ
松江 | ふるさと | | だんだん まつえ
松江 | ふるさと |
| 2 | ちどり しろ
千鳥お城 | いしがき
石垣 | 5 | おうかわ
意宇川ほとり | あだかや
阿陀加夜 |
| | よめ しま
嫁が島に | あかね
茜 さす | | しろ いなり
城の稲荷 | しんこうさい
神幸祭 |
| | まつえおおはし
松江大橋 | カラコロと | | かけこえはな
掛声華やか | ホーランエンヤ |
| | だんだん まつえ
松江 | ふるさと | | だんだん まつえ
松江 | ふるさと |
| 3 | しじみ おい
蜆 美味し | しんじこ
宍道湖 | 曲は | ふるさと
故郷 | 作曲 岡野貞一 |
| | なみ あそ
波に遊ぶ | ゆうかも
夕鴨 | | 「うさぎ追いし かの山・・・」 | |
| | まがたま ゆ まち
勾玉湯の町 | ゆかた
浴衣がけ | ※ | 近畿松江会では 15 周年（2022 年）を記念して、6 番以後の歌詞を募集し、16 作品（広域編 7 編、地域編 9 編）を採用しました。総会・懇親会にて 5 編ずつ斉唱していきます。 | |
| | だんだん まつえ
松江 | ふるさと | ※ | 引き続き募集を継続しますので事務局まで封書・ファックス・メールにて応募してください。 | |

松江だんだん 近畿松江会 会報第15号

目 次

表紙題字	「近畿松江会」 元顧問 故和田亮介氏
会歌「ふるさと松江」 作詞 近畿松江会
目 次 1
ご 挨拶 近畿松江会 会長 松 本 耕 司 2
松 江 市 長 上 定 昭 仁 3
令和5年度事業報告 4
令和5年度収支決算報告 5
令和6年度事業計画 6
令和6年度収支予算書 7
令和6年度 第16回総会・懇親会報告 8
.....	
講演 松江市観光部 部長 福 間 千 恵 12
「世界中から松江に人が集まる Authentic Japan “MATSUE”」	
総会・懇親会参加者名簿 15
.....	
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん” 16
◆ふるさと松江 山口 紀 子	
◆東津田町の思い出 酒 井 祥 三	
近畿松江会 令和6年度年度役員名簿 19
会員名簿（出身町・小中学校区別） 20
運営協力金、総会・懇親会、双樹学院支援金寄付者名簿 24
広 告 25
お知らせ・編集後記・表紙（写真）について 29

■ご挨拶 近畿松江会 会長 松本 耕司



今年の夏は昨年以上の猛暑が続き、流石に辟易といたしました。皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。おうかがい申し上げます。

さて、昨年の新型コロナ禍明けの4年ぶりの開催に続き、本年度も5月26日に近畿松江会総会・懇親会のご案内をいたしましたところ、松江市山根副市長様を始めとするご来賓の皆様、そして会員・会友を含め総勢81名の皆様にご参加をいただき、お陰をもちまして盛況裡に終了いたしました。まずもってご参加の皆様には厚く御礼を申し上げます。

私も、直接にお顔を拝見しながらお互いの元気を確認できるこの機会がどんなに大切な場であるかを、あらためて深く心に刻んだ次第でございます。有難うございました。

その後、パリオリンピックの応援や、大社高校の甲子園ベスト8快進撃を応援している間に、世の中の動きもさらに前へ進み、近畿松江会もそこにも目を向けながら、いよいよ次の新しい一年のことを考えていかなければならない時期に入ったなど考えております。

その第一は、来年4月から当地で開催される「2025大阪・関西万博」で、世界を対象に国や社会全体を巻き込むイベントとして、松江にも大きな影響を与えていくことと思われまます。

第二は、小泉八雲の妻セツをモデルにしたNHK朝ドラ「ばけばけ」の放映が来年秋からと発表されたことで、これは松江の魅力、八雲の事績が国内外に発信されていくことになりまますから、松江にとっては大きな期待を寄せるニュースになります。

また、事務的な話になりますが、来年11月の「近畿島根県人会総会」は、近畿松江会が安来会・奥出雲会と協同で5年に一度の開催企画を担当する総会で、当会役員はその準備に奔走するという特別な一年がまもなく始まることも既に決まっています。

こういったことを踏まえながら当会は前進してまいりますが、ふるさと会の基盤はいかに状況が厳しくても①「会員の維持・拡大」につきまますので、それを目標に②「各高校同窓会など諸団体との連携強化」にさらに力を注ぎたいと考えまます。また、むつかしい状況だからこそ③「お一人おひとりを大事にしていく会」になっていかなければならないと思ひまます。

加えて、当会の目標に謳う④「郷土の発展と活性化への貢献」につきましても、ふるさとの課題や目標に対して、私たち近畿に住む松江人も、それぞれの立場でお手伝いできることはないかと、常に意識していきたくて考えている次第です。

以上、地道な取り組みになりますが、当会を将来につないでまいりたいと考えまますので、皆様には引き続きご協力、また、ご叱正のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、会員、会友、ご関係皆様の益々のご健康、ご多幸を、衷心より祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

■ご挨拶（近畿松江会の皆様） 松江市長 上定 昭仁



近畿松江会の皆様には、平素より松江市の市政運営に対して、温かいご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

皆様に、松江市の近況をご紹介させていただきます。

今年4月、松江市総合文化センター・プラバホール（愛称：さんびる文化センタープラバホール）が、昭和61年の開館以来初めての大規模改修を終えてリニューアルオープンいたしました。今回の改修では、建物の耐震性改善に加えて、中四国地方で唯一の公共ホールに備えるパイプオルガンをオーバーホール（分解修理）し、多彩な音色を奏でるコンビネーションシステムを更新するなど、音楽表現の飛躍的な向上を図りました。また、観客席は座席幅を拡げて「宍道湖の夕日色」に刷新し、背もたれの座席番号プレートは松江城の伐採杉を加工し八雲塗で仕上げるなど、松江ならではの特色を随所に表しています。

さらに、大ホール前のホワイエには、松江城や牡丹を八雲塗で描いたアップライトピアノを設置し、自由に演奏できる「ストリートピアノ」として活用しています。同じ建屋内にある中央図書館には、館内カフェのドリンクを持ち込めるブラウジングコーナーのほか、学習室、授乳室を新設し、居心地の良い空間を創出しました。

引き続き、松江市における芸術文化活動の拠点として、また市民の皆様の交流・憩いの場として親しまれることを期待し、近畿松江会の皆様にも近いうちにお越しいただけることを願っております。

去る6月中旬には、小泉八雲の妻セツをモデルにしたNHKの連続テレビ小説「ばけげん」の制作決定と、来年秋の放映開始が発表されました。これまで数次にわたりNHKに対しドラマ化の要望を行っていた松江市にとって、大変嬉しいニュースとなりました。

朝ドラの放映をきっかけに、松江の魅力を国内外に発信してまいりますので、皆様にもお力添えいただけますと幸いです。

なお、現在、小泉八雲記念館では、企画展「小泉セツ ラフカディオ・ハーンの子として生きて」を開催しております。来年6月8日までの展示となりますので、ぜひご来館ください。

さらに、来年開催される大阪・関西万博を、松江へのインバウンド誘客促進の好機と捉えて、旅行会社や飲食事業者などと連携し、観光商品の造成やプロモーション活動を行っております。7月31日には、「たなべたたら」の里」と「中浦食品」の2社が共同で、特産品販売や情報発信を行うアンテナショップ「出雲しめなわや」を、JR大阪駅前にオープンした「KITTE大阪」に出店しました。松江市では、この出店に合わせて、11月に「KITTE大阪」2階のイベントスペースにおいて、初めて大阪での特産品フェアを開催する予定です。開催日時や内容が決まりましたら、皆様にご案内いたしますのでご期待ください。

近畿松江会の皆様には、近畿圏における松江市のPRなどに引き続きご協力くださるようお願い申し上げますとともに、貴会のますますの発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

令和5年度事業報告

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月10日	火		令和5年度年会費納付のお願い発送	
1月13日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 2名出席	京都三条加茂川館
2月9日	木		令和4年度会計 会計監査	
2月9日	木		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
3月14日	火		「双樹学院」支援金(R05年度第1回)贈呈	
3月31日	金		第15回総会・懇親会案内状・牡丹鑑賞会案内状発送	
4月7日	金		第20回 近畿松江会ゴルフ大会 大雨中止	
4月29日	土		牡丹鑑賞会 中止	教王護国寺(東寺)
5月28日	日		第15回総会・懇親会	新阪急ホテル
6月1日	木		第20回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
8月24日	木		「双樹学院」支援金(R05年度第2回)贈呈	
10月20日	火		第21回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
11月11日	土		第58回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月8日	金		令和6年度年会費納付のお願い発送 「双樹学院」支援金(R05年度第3回)贈呈	
			定期役員会開催(2月・3月・4月・5月・6月・8月・9月・11月)8回	

令和5年度 近畿松江会 収支決算報告書

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	1,274,177	1,274,177	0	
年会費	420,000	405,000	▲ 15,000	135名×3,000円
總會費	880,000	971,073	91,073	会費8,000円×106名・寄付金・払込手数料差引き後
寄付金	250,000	191,500	▲ 58,500	運営協力金57名
広告料	150,000	138,000	▲ 12,000	会報第13号 17件
雑収入	10	12	2	預金受取利子
合計	2,974,187	2,979,762	5,575	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
總會費	1,650,000	1,593,857	▲ 56,143	
広告費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通信費	50,000	62,512	12,512	会長挨拶状送付ほか
印刷費	150,000	143,303	▲ 6,697	会報第13号：300部・広告のお願い
事務費	60,000	48,398	▲ 11,602	HP接続料・封筒ほか
旅費	50,000	13,680	▲ 36,320	松江市訪問交通費
雑費	40,000	27,432	▲ 12,568	松江城を守る会会費・松江市訪問手土産
予備費	30,000	10,000	▲ 20,000	島根県女子駅伝チーム激励金
事業費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会賛助金
払込負担金	30,000	23,069	▲ 6,931	会費、広告料郵便局払込手数料
次期繰越金	839,747	983,071	143,324	前年度迄繰越 1,274,177 今年度分繰越 -291,106
合計	2,974,187	2,979,762	5,575	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

令和6年2月14日

監事 木原 貢 (印)
 監事 原 善 雄 (印)

令和6年度事業計画書

月 日	曜日	時間	行事等の内容	場 所
1月12日	金	17:30	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 2名出席	京都三条加茂川館
1月14日	日		全国都道府県対抗女子駅伝応援	西京極陸上競技場
2月14日	水		令和5年度会計 会計監査	
2月7日	水		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
3月7日	木		「双樹学院」支援金(R06年度第1回)贈呈	
4月8日	月		第16回総会・懇親会案内状発送	
4月26日	金		第22回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
5月26日	日	11:00	第16回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
8月22日	木		「双樹学院」支援金(R06年度第2回)贈呈	
10月初旬			第15号会報発行	
11月1日	金		第23回 近畿松江会ゴルフ大会	きさいちカントリークラブ
11月17日	日		第59回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月初旬			令和7年度年会費納付のお願い発送 「双樹学院」支援金(R06年度第3回)贈呈	
			随時役員会開催	

令和6年度収支予算書

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	R05年度決算額	R06年度予算額	比較増減	備考
前期繰越金	1,274,177	983,071	▲ 291,106	
年会費	405,000	390,000	▲ 15,000	130名×3,000円
総会費	971,073	720,000	▲ 251,073	総会・懇親会会費 90名×8,000円
寄付金	191,500	170,000	▲ 21,500	運営協力金
広告費	138,000	130,000	▲ 8,000	会報広告
雑収入	12	10	▲ 2	預金受取利子
合計	2,979,762	2,393,081	▲ 586,681	

支出の部

単位：円

科目	R05年度決算額	R06年度予算額	比較増減	備考
総会費	1,593,857	855,000	▲ 738,857	総会・懇親会 90名×9,500円
広告費	44,440	44,440	0	年賀・暑中見舞い広告(山陰中央新報社)
通信費	62,512	90,000	27,488	総会、懇親会案内状・会報発送費ほか
印刷費	143,303	150,000	6,697	会報発行(300部)・配布資料等
事務費	48,398	50,000	1,602	HP接続料、封筒ほか
旅費	13,680	30,000	16,320	松江市訪問旅費ほか
雑費	27,432	30,000	2,568	松江市訪問土産ほか
予備費	10,000	30,000	20,000	女子駅伝・修学旅行激励
事業費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会助成金
払込料金負担	23,069	25,000	1,931	会費、広告料等郵便局払込手数料
次期繰越金	983,071	1,058,641	75,570	
合計	2,979,762	2,393,081	▲ 586,681	

第16回記念総会・懇親会 報告

令和6年5月26日(日)

ニューオオサカホテルにて開催

6年ぶりに会場をニューオオサカホテルとして第16回総会・懇親会が、山根松江副市長をはじめご来賓14名、近畿の会員・会友66名のご出席をいただき、盛大に開催されました。

【第一部】総会

今年は平山恭子常任幹事の司会で開会されました。松本耕司会長が挨拶し、昨年の総会の振り返り、会として松江市の発展と活性化に積極的に参加・貢献することを改めて報告しました。



松本会長挨拶

続いて議事が行われ、会則により松本耕司会長が議長を務め議事が進められました。竹谷奨事務局長が令和5年度の事業報告と決算報告を行い、木原貢監事により会計監査報告がなされました。続いて前会長の伊藤征治顧問の退任報告と新役員の選出で、木村恵吉副会長が顧問に、武田貞雄常任幹事と木原貢監事が相談役に、田中裕子常任幹事が監事に就任することと尾原謙治さんと新宮祐二さんが幹事として就任すること及び前田秀子さんが団体推薦幹事として新たに就任することが承認されました。

このあと、竹谷事務局長より令和6年度の事業計画及び予算案が提案、承認されました。



竹谷事務局長 事業報告及び決算報告

【第二部】講演

福間千恵松江市観光部長

鶴羽孝子常任幹事から今年の春に就任されたことのほか経歴が紹介され

「世界中から松江に人が集まる

Authentic Japan “MATSUE”」をテーマにご講演をいただきました。

(講演内容は12ページ～14ページ)

【第三部】懇親会

今年は景山克雄副事務局長が司会をつとめ、松尾年浩副会長の「開会のことば」で懇親会が始まりました。

まずは、ご来賓を代表して山根幸二副市長よりご祝辞をいただきました。

次に、松江からお越しいただいたご来賓の皆様、近畿における友好団体代表者の方々が紹介されました。

引き続き吉金隆松江市市議会議長よりご挨拶と乾杯のご発声をいただき、歓談に移りました。



松尾副会長「開会のことば」



山根松江市副市長 来賓代表ご祝辞



吉金松江市市議会議長挨拶

宴が始まり、賑やかに懇親が交わされました。懇親を深めるなか「福引き大抽選会」が始まり、ご来賓の方々により抽選が行われました。



吉金松江市市議会議長のご発声で「乾杯」



福引き大抽選会

松江市関係各所から提供された牡丹の鉢植えをはじめ食品や清酒、宿泊券が来場者全員に当たりました。



大抽選会 景品の引き渡し

宴たけなわのなか、会歌「ふるさと松江」を斉唱。続いて、松浦俊彦松江商工会議所専務理事の音頭により万歳を三唱しました。

最後に、竹谷奨副会長の「閉会のことば」で締めくくり、懇親会を終了しました。



会歌「ふるさと松江」斉唱

懇親会を楽しむ参加者の皆さん



ご来賓の方々と当会役員の皆さん



松浦松江商工会議所専務理事の音頭で万歳



ご来賓の方々と当会役員・会友の皆さん



松江の歴史、文化、芸術、産業などを紹介する文化情報誌「湖都松江」の販売



ご来賓の方々と関西矢の原会（松江南高校同窓会）の皆さん



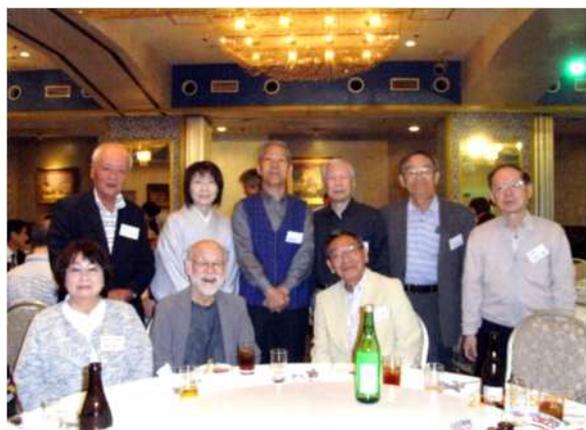
近畿松江工窓会（松江工業高校同窓会）と
高専出身者の皆さん



振商会近畿支部（松江商業高校同窓会）と
宍道町出身の皆さん



当会役員と会友の皆さん



近畿双松会（松江北高校同窓会）の皆さん



皆美が丘会関西支部（皆美が丘女子高校同窓会
〔旧松江市立女子高校〕）の皆さんとご家族



近畿双松会（松江北高校同窓会）と関西矢の原
会（松江南高校同窓会）の皆さん

福間千恵 松江市観光部長 講演

世界中から松江に人が集まる

Authentic Japan “MATSUE”
(ほんものの日本”松江”)



はじめに

松江市総合計画に掲げている観光分野の将来像を世界中から松江に人が集まることを実現するために、松江観光戦略プランを策定しました。これは国際文化観光都市である松江の将来の姿を観光事業者の皆様や市民の皆様と共有して観光振興を図るための戦略的なチャレンジを推進していくための計画で「オーセンティックジャパン、今後の日本がどこにある。」をコンセプトとしております。

なぜ観光振興に取り組むのかというと、松江市の人口は、減少を続けております。そこでそうならないためにはどうすればいいのか、その解決策の一つとして考えられるのが松江市の主要産業である観光業です。観光客が増えれば観光産業の売り上げが増加し雇用が拡大していくという好循環の効果が生まれることを期待しております。

1. 観光地松江の魅力

松江には七つの魅力があります。一つ目が「城下の営み」です。来年、国宝十周年を迎える松江城など松江には城下の伝統行事、町割り、生活文化が今もなお、息づいています。

二つ目が「日本の面影」です。古き良き日本の面影が今なおたどることができます。

三つ目が「近代・現代の美」です。松江城にある興雲閣等当時の粋を凝らした建物が立ち並び現在もその趣を残しています。島根県立美術館は新しい現代の建物ですが、水と調和する美術館、夕日に包まれる美術館として親しまれているところです。

四つ目が「癒しの時間」です。松江は、日本最古の湯の一つである玉造温泉、宍道湖半の温泉地、松江しんじ湖温泉など、魅力的な癒しのエリアやスポットが豊富にあります。温泉に浸かり、自然の恵み豊かな食を味わえば心も身体も満たされ癒しの時間を得ることができます。

五つ目が「技のある暮らし」です。松江には茶の湯文化から発展した伝統工芸品である漆器、陶器、和紙、和菓子など人の手でしか醸し出せない繊細なものづくりが、前人の知恵と細やかな技巧と共に職人たちによって現代に受け継がれています。

六つ目が「神と暮らす港町」です。美保関は古事記や日本書紀に記された國譲り神話にちなむ諸手船神事や青柴垣神事が600年に渡り今も執り行われているなど、歴史を感じることができる地域になっています。

七つ目が「アウトドア・アクティビティ」です。市街地から少し足を伸ばせば、島根半島・宍道湖中海ジオパークでキャンプ、トレッキング、サイクリングが楽しめます。また、市街地でもSUP（サップ）や無人島でのキャンプなどまちなかにいながら開放的なアクティビティも楽しめます。日常を忘れ自然の中で思いっきり遊べば、都会ではできない体験、素敵な時間となります。

2. 観光基本戦略

松江観光戦略プランでは、「世界中から松江に人が集まる」を実現するために四つの基本戦略を立てております。



基本戦略 1.

「魅力ある観光素材の磨き上げ」

この基本戦略では、七つの主要施策を掲げております。

一つ目の主要施策は「ユニークで多彩な観光資源の活用」です。松江には歴史、芸術、温泉、水辺空間、縁結び、神話、怪談など、ユニークで多彩な観光資源があります。佐陀神能、出雲国跡、宍道湖の夕日などのような多彩な観光資

源をデジタル技術などを効果的に活用しながら魅力発信に努めてまいります。

二つ目の主要施策は「**城下町のまちあるきの推進**」です。城下町を散策して観る、体験する、飲食や買い物を楽しむ、歴史を体感できるまちあるきの仕掛け作り、まちなかの回遊性と賑わいの創出をしてまいります。特にお茶、和菓子、伝統工芸などの老舗の職人の技を見て体験して楽しめるよう、意欲のある工芸作家の製作・体験・販売などの活動拠点を整備していく職人商店街創出プロジェクトというのがありますが、これにつきましては新プロジェクトとして取り組んでまいります。

三つ目の主要施策は「**夜のまち・朝のまちの魅力向上**」です。夏休み中、毎日、夜の温泉街を楽しんでもらうため玉造温泉では夏祭りの夜のイベントを開催しています。夏の風物詩水郷祭の花火大会、ゴーストツアーという怪談をテーマにした企画の充実など夜を楽しめる仕掛け作りや地域住民との交流が楽しめるまた、食も楽しめる朝市の開催など朝の松江を楽しめる取り組みもしてまいります。

四つ目の主要施策は「**サステナブルツーリズムの創造**」です。サステナブルツーリズムは、持続可能な観光という意味ですが、環境への影響を十分に考慮する観光の形になります。日本海に面した島根半島は、ジオパークとして認定されております。自然を大切に守り、美しい環境の中でアウトドアアクティビティの提供や自然環境の関心を高めるエコツーリズムの推進、地域の歴史や伝統行事が感じられるマイクロツーリズムの推進などに取り組んでまいります。

五つ目の主要政策は、「**食と特産品の磨き上げ・高付加価値化**」です。特産品の認知度向上を図るとともに、高付加価値化を図ります。

基本戦略2.

「快適に過ごせる環境づくりと利便性向上」

この基本戦略では、四つの主要施策を掲げております。

一つ目の主要施策は「**歩きたくなるまちなみ整理**」です。宍道湖岸や大橋川の水辺について、市民や観光客でにぎわう空間を構成する水辺の利活用促進事業をキイプロジェクトとして取り組んでまいります。

二つ目の主要政策が「**快適に滞在できる環境づくり**」です。観光案内所の機能充実、バリアフリーの観光の環境整備などを行ってまいり

ます。松江市では障害のある方、高齢の方など、誰でも安心して旅をしていただけるよう、バリアフリーツアーに関する相談、介助、情報発信などのサービスを行っております。

三つ目の主要政策は「**移動の利便性向上**」です。まず観光客がストレスなく移動できる交通手段を工夫し、利便性の向上の検討を行うとともに、電動キックボードやグリーンスローモビリティなど多様な交通手段を安全性、採算性などを検証しながら導入実用化の検討を行ってまいります。「水の都・松江」が体感できる水上交通につきましては、はくちょう号がありますが、交通手段としてだけではなく新たな観光資源としての観点も取り入れながら検討を行ってまいります。



四つ目の主要政策は「**観光を担うひとつづくりとおもてなしの向上**」です。観光客の皆様へのおもてなしは、市民一人ひとりがホスピタリティを持って取り組むことが重要で、ふるさと教育や出前講座などを通じて松江の魅力を知る機会を提供し、挨拶や道案内など町全体のおもてなしの心を作ってまいります。

基本戦略3.

「松江の魅力発信と顧客の創造」

この基本戦略では六つの施策を掲げております。

一つ目が「**マーケティング・プロモーション**」です。多様化する旅行スタイルのニーズやトレンドをデータ分析し的確にターゲットを捉え効果的なプロモーションを展開してまいります。また国宝を有する姫路、松本、犬山、彦根と松江の五都市は、姉妹都市などゆかりのある町との交流を促進し、観光振興につなげてまいります。

二つ目の主要政策は「**インバウンドー松江への周遊促進**」です。来年の万博を絶好の機会と

捉えて官民一体となって推進協議会を設立してきました。今後、観光商品の造成とプロモーションを行ってまいります。また、多くの外国人観光客が訪れる広島からの誘客を図るため、広島ー松江間の高速バスの乗車券を外国人の方には予約で提供する仕組みを行ってまいります。

三つ目の主要政策は「MICE の誘致」です。MICE とは、会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称です。

国内外から多くの集客を見込まれる MICE を積極的に誘致し、地域経済の活性化につなげてまいります。松江城からくびきメッセへ堀川遊覧船を特別運行しました。宍道湖畔にある花と鳥の楽園松江フォーゲルパークでは特別にレセプションを行いました。こういった特別感のあるユニークな体験が MICE の開催地として選ばれるポイントのひとつとなりますので、今後も継続して行っていききたいと思います。

四つ目の主要政策は「スポーツ・エンターテインメントの活性化」です。島根スサノオマジックの活躍や国宝松江城マラソンなどのスポーツイベントの開催で松江の知名度が向上し、全国から多くの方たちが訪れてきています。スポーツによる誘致促進を図るため、松江版地域スポーツコミッションの設立とスポーツによる観光振興をキーププロジェクトとして取り組んでまいります。

五つ目の主要政策は「閑散期のオフシーズン対策」です。松江に降る雨は素敵な縁(えにし)を結ぶ雨という女子高生が名付け親の「縁雫(えにしずく)」に絡めたイベントをしております。冬の閑散期にターゲット層を定めた効果的なプロモーションを続けてまいりたいと思います。また、冬の宍道湖でしか撮れない黄金色の夕日、こういった冬にしか見えない景色などを集めた松江ならではのホームページなどを作って誘客プロモーションを提示するところです。また日本の閑散期に旧正月を迎える東アジアなどからのインバウンドや冬に修学旅行を行う学校などの誘致活動を取り組んで参りたいと考えております。

六つ目の主要施策は「ひと・企業とのつながりづくり」です。松江滞在中のストレス低下の実証などヘルスケアに注目したワークとコミュニケーションを重視した松江式ワーケーションの取り組みを進めます。美保関の旅館での

ワーケーション、市内のホテルのワーキングスペースの提供等です。また、松江にゆかりがある国内外で活躍されている方に観光大使として松江の魅力発信と観光振興に協力いただいております。

基本戦略 4.

「観光地松江の土台づくり」

この基本戦略では、四つの主要政策を掲げております。

一つ目の主要政策は「観光推進組織づくり」です。観光振興によって地域の活性化を図るためには、地域の「稼ぐ力」を引き出すことが重要となっております。これまでのような行政や観光事業者だけではなく、多様な関係者が一体となって取り組む必要があります。その司令塔となるのが、観光地域づくり法人 (DMO) で、松江観光協会がこの役割を担うことが求められています。この体制を強化し、データに基づく戦略を実行できる自律性の高い組織として観光協会が育て上げたいと考えており、キーププロジェクトとして取り組んでまいりたいと考えております。

二つ目の主要政策は「新たな観光財源の検討・導入」です。新規事業に取り組むための新たな観光財源として、昨年度からキーププロジェクトとして宿泊税導入の検討をしているところです。

三つ目の主要政策は「観光産業の担い手づくり」です。持続可能な観光のまちづくりを実現するため、食や特産品、宿泊、飲食、体験商品などサービスの開発、高付加価値化の支援に取り組んでまいります。異業種による観光企業への参入や企業支援を地域全体で支える MATSUE 企業エコシステムというイベントの開催、日替わりで出店出来るお試しショップの開催、松江市地域おこし協力隊という I ターンされた方が、島根の自然や景観を活かした様々な活動をされながら起業をする等です。

四つ目の主要政策は「国内・海外からのアクセス向上」です。出雲空港に国際定期便就航の実現に向けて取り組んでおります。また、中国横断新幹線と山陰新幹線の早期実現につきましては、島根県や中海・宍道湖・大山園域が一体となって取り組んでまいります。このような取り組みを行って、松江ならではの魅力をさらに広め、世界中から人が集まるまち松江を作りたいと思います。

以上～要約筆者 副事務局長 景山克雄～

第16回 総会・懇親会参加者名簿 全82名

— 来 賓 — 14名

松江市 副市長	山根 幸二
松江市 政策部 理事 政策部部長	松浦 徹
松江市 観光部 部長	福間 千恵
松江市 政策部（秘書課） 次長 秘書課長	井川 浩介
松江市議会 議長	吉金 隆
松江市議会事務局 事務局長	田中 孝一
松江市観光振興公社 理事長	能海 広明
松江観光協会 常務理事	大塚 享義
松江商工会議所 専務理事	松浦 俊彦
島根県大阪事務所 所長	河野 敏範
近畿安来会 副会長	石田 裕子
関西岩見沢会 会長	北浦 和憲
山陰中央新報 大阪支社長	高橋 賢一
松江南高等学校同窓会 矢の原会 副会長	小幡 美香

— 会 員 ・ 会 友 — 68名

有田 鋼司 (栄町)	家島 明彦 (上乃木)	池田 喜美代 (石橋町)
石倉 喜充	井谷 祥達 (八雲町)	内 部 茂 (東朝日町)
大野 徹 (八幡町)	岡本 由美 (横浜町)	小川 ちづる (大阪市)
押田 良樹 (大庭町)	小田 一美 (堂形町)	尾原 謙治 (雑賀町)
景山 克雄 (法吉町)	柏木 薫	勝田 純一
門脇 幸夫 (八束町)	神谷 紀男 (上乃木)	神田 俊之
木原 貢 (宍道町)	木村 恵吉 (雑賀町)	小高 久始 (宍道町)
小寺 紀子 (宍道町)	小松 砂知子 (鹿島町)	木幡 晃正 (宍道町)
酒井 祥三 (東津田町)	清水 博子 (玉湯町)	下濱 敏弘 (隠岐)
宍道 弘志 (中原町)	曾田 良子 (古志原)	高橋 一雄 (鹿島町)
竹内 喜次男 (豎町)	竹谷 奨 (八束町)	多田 美智子 (大阪市)
田中 一男 (和田見町)	田中 繁法 (鹿児島)	田中 英明 (上乃木)
田中 裕子 (石橋町)	鶴羽 孝子 (西持田町)	友田 公一 (箕面市)
中村 博行 (新町)	南目 益男	葦山 泰信 (八雲町)
野口 博也 (内中原町)	野津 一雄 (内中原町)	長谷川 紀美子 (玉湯町)
長谷川 末男	原 善雄 (出雲市)	久 幸子 (鹿児島)
樋野 博美	平山 恭子 (古志原)	福川 妃路子
藤坂 優子 (西津田町)	藤田 宏 (八雲町)	前田 秀子 (東出雲町)
松尾 年浩 (馬潟町)	松本 耕司 (上本庄町)	松本 幸子 (南田町)
三澤 正 (奥出雲町)	溝口 裕子 (八雲台)	村上 勝美 (片原町)
茂居 理智子 (豎町)	本屋敷 千鶴子 (隠岐)	森藤 哲章 (広瀬町)
山口 紀子 (黒田町)	吉田 昭 (宍道町)	米田 稔宏 (白潟本町)
脇田 健晶 (鹿児島)	脇田 茂子 (大阪市)	
新規加入者 (令和5年6月～令和6年5月)		

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケンネ。

◆ふるさと松江

神戸市 山口 紀子

多くの皆様のように「私のふるさとは〇〇町です」と言えないのが残念です。両親の住む黒田町で登録はしていますが・・・



と、申しますのは18歳で松江を離れるまで父の仕事の関係で、1～3年ごとに小学校を5つ、中学校を3つ転校するなど、引越しが続いたからです。入学は内中原小・それから松原小（浜田）・温泉津小・木次小 ⇒木次中・川本中・卒業は松江一中というあわただしさでした。

何回も途切れながら松江では5つの町に住みました。最後に定着したのも松江市ですから私のふるさは「松江」なのです。

5歳の時は大庭町でした。幼かったのので少ない記憶ですが、近所で夏祭りに外で映画があった、「遅くまで遊んでいると子取り鬼にさらわれる」と言われ怖かった、近所にテレビを見せてもらいに行ったことは覚えています。

6歳は内中原町でした。1年生入学、鉄棒が好きで帰ってからまたすぐに学校へ行き逆上がり、大根抜きの技を飽きずに繰り返して

いました。



内中原小学校入学式の日（家の前で）

城山公園でどんぐりやしいのみを拾ったり巨大木製ブランコで遊んだりしたのが楽しい思い出です。私にはとても大きなブランコに感じられましたが、今思えばおそらく普通の大きさだったと思われます。父の実家がある秋鹿町にお墓参りに行くと伯父が宍道湖で釣ったうなぎを玄関の土間でさばいて御馳走してくれました。

この後は市外へ引っ越し松江に帰って来たのは中学3年生の時、春日町。

高校1年生の時は叔母の家に下宿してそれは月照寺に近い外中原町。月照寺はまだ今のよう整備されておらず受付もありませんでした。入口の竹筒にいくらかお金を入れて入りました。また叔母の家では毎日2時には「お茶の時間」があり、ゆったり煎茶を入れての休憩時間でした。お茶の習慣は松江の文化だったことは近年になって知りました。

いよいよ最後は黒田町。有名な「黒田の芹」。毎年年末になると「有名市場への出荷が始まった」とニュースで取り上げられていました。寒い中の作業は大変だったことでしょう。今、その田には新築の家が建ち並んでいます。前回帰省した折には更に様子が変わっていて、いつも曲がる道を見逃してしまいました。

子どものころ松江を離れていた7年間の間に3ヶ月ほど松江にいたことがあります。松江赤十字病院に入院していたのです。その当

時まだ症例が少なく知られていなかった「膠原(コゲン)病」でした。お見舞いに来て下さった方に母が毎回説明するのですが、その度に「なんでそんな高原なんか連れていったん」と言われていました。一時期は「もう覚悟してください」と言われるほど悪化したのですが新薬のおかげで完治しました。

その間、お医者様はじめ、看護婦(当時)さん、検査技師さん、薬剤師さんにはとても親切に優しくしていただきました。その時には自分のことで精一杯で、父も姉も、ずっと付き添ってくれていた母も大変だっただろうことなど思い至りませんでした。後で色々聞いたり思い出したり、また自分が親になって感じる事が多くお世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

8年前に神戸のこども病院の隣にある付き添い家族のための宿泊施設「マクドナルドハウス神戸」がボランティア募集をしていることを知りました。私が入院している間、母はずっと狭い病室のポンポンベットでの寝起き、10分間で切れるガスでの自炊、今のようにコンビニもレトルト食材なども無い中よく頑張ってくれました。ハウス神戸では完備されたキッチン、洗濯機、広い個室があります。精神的な苦痛は今も昔も変わらないと思いますが、少しでもゆっくり落ち着ける場所を提供できるお手伝いをする事であの時の恩返しができたらとボランティアを続けています。

今までお世話になった方々への感謝の気持ちをもってこれからもボランティア活動を続けたいと思います。

◆東津田町の思い出

尼崎市 酒井 祥三

私は父親の仕事の都合で小学四年生になる四月に松江市に転校してきました。

父親は次男坊だったためこの地を自分たち



の拠点とすべく東津田町の東光台に自宅を構え、私は高校を卒業するまでここで過ごしました。ちなみに私が高校三年生の時、この団地の東側の造成工事中に「石屋古墳」が発見されました。一辺約四十メートル、平均高さ七・五メートルの方墳で、この型の多い出雲地方でも最大級の規模とのこと。その後の調査の結果、出土した埴輪が国内最古の人物埴輪セットであることが確認されました。



石屋古墳

「出雲風土記」にも登場する古代の渡し場「朝酌渡(あさくみのわたり)」にも近く、当地の航海権を掌握した有力な豪族の墓所であろうと推定されています。今はバスも来ない、スーパーマーケットもない年寄りばかりの団地になってしまいましたが、私の幼少の頃はどの家庭にも子供がいて、朝の登校時には団地の中腹辺りにある市バスの廻し場がまさしくランドセルを背負った芋の子を洗うような情景になっておりました。

私もこのバスで津田小学校に通い、四中(現在の市立中央図書館の辺り)には約4キロの道のりを雨の日も雪の日も毎日自転車で通学しておりました。学校がない時はよく近所の友達と釣りに出かけました。宍道湖と中海を結ぶ大橋川は東津田町で馬橋川、天神川、剣先川の支流を生みます。その分岐部辺りでセイゴ(スズキの子)を狙って友達とリールを投げるのですが、いつも上がるのはハゼかゴリンチョばかり。小学校の夏休みだったと思います。その日もいつものようにセイゴは釣れず、手持無沙汰でザブンと大橋川に膝まで浸かり何気に両手で川底を掬ってみるとシジミがいっぱい。釣果の代わりに嬉々として

持って帰ると、それはそれは父親にこっぴどく怒られたことを覚えています。

大橋川が枝分かれするこの一帯は宍道湖から供給される有機質を豊富に含んだ肥沃な土壌に恵まれ、江戸時代には城下で消費する野菜類のほとんどを賄うほどの穀倉地帯だったそうです。そこで「津田かぶ」の話です。江戸時代末期にこの地津田村にて立原紋兵衛氏によって品種改良され、当初は紋兵衛かぶと言われていたもので、ご存じのように出雲神話の三種の神器のひとつである「勾玉（まがたま）」と同じような形状をしています。地上部は紫色、地中は白。今では松江市の特産品となっており、糠漬けも浅漬けもとても美味しくこちらではお歳暮の定番にもなっていますが、なかなか関西にいますとお目にかかることはありません。というか残念ながら知名度はほとんど皆無です。この寄稿を機に東津田町出身者としてアピールしていかねばと肝に銘じる次第です。

ところで、町内に鷹日神社という大晦日に貧乏神を送る神事を斎行する社があります。



鷹日神社

日本全国に貧乏神を祀る神社はいくつかあるようですが、本人を送り出す催事は珍しいようです。鷹日さんでは、大晦日も大詰めの二十三時半過ぎから神社の照明が一斉に落とされ暗闇の中での祝詞奏上が始まります。鳥居脇の灯笼前で参列者が御幣を刺していきます。年を跨ぐ寸前で滞りなく神事が終わり社に灯りが戻り、初詣を待つ境内の参拝客がぞろぞろ拝殿に向かいます。

松江で初詣と言え、熊野や八重垣、武内

神社なのでしょうが、無精な我が家は込み合うのも面倒なので歩いても行ける鷹日神社によく出かけました。

子供の頃と同じように東光台の実家からは嵩山・和久羅山の涅槃仏（それが人の寝姿にも見えるので、お釈迦様になぞらえて）と、枝分かれする大橋川が臨めます。



和久羅山と大橋川分岐

石屋古墳の造られた五世紀にも見せていた風景です。多感な子供の頃に目の端に何気に入っていた景色、帰省時にゆっくりと眺めた四季折々の景色、この歳まで幾千回にも上刷りされたこの風景がまさしく私の松江の原風景です。あと何回ここに帰って来られるのか。楽しみでもあり寂しくもある今日この頃です。



今年の盆、南高の同級生と
(左から2人目が私 於：松江)

令和6年度 役員名簿 (28名)

会 長	松本 耕司	(上本庄町・本庄小学校)
副 会 長	松尾 年浩	(馬潟町・竹矢小学校)
副 会 長 事務局長兼務	竹谷 奨	(八束町・八束小学校)
副事務局長 (ゴルフ担当)	内部 茂	(東朝日町・中央小学校)
副事務局長 (事務担当)	景山 克雄	(法吉町・法吉小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	渡辺 悟	(北田町・付属小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	木幡 晃正	(宍道町・宍道小学校)
常任幹事 (HP担当)	鶴羽 孝子	(西持田町・持田小学校)
常任幹事 (広報担当)	茂居理智子	(堅 町・雑賀小学校)
常任幹事 (会務・諸行事)	平山 恭子	(古志原・津田小学校)
幹 事	新宮 祐二	(鹿島町・佐太小学校))
幹 事	尾原 謙治	(雑賀町・母衣小学校))
団体推薦幹事 (近畿双松会)	松本 幸子	(南田町・母衣小学校)
団体推薦幹事 (近畿双松会)	宍道 弘志	(中原町・内中原小学校)
団体推薦幹事 (近畿双松会)	木村 滋樹	(苧 町・内中原小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	永瀬 丈嗣	(玉湯町・玉湯小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	家島 明彦	(上乃木・古志原小学校)
団体推薦幹事 (関西矢の原会)	菰山 泰信	(八雲町・八雲中学校)
団体推薦幹事 (近畿松江工窓会)	三 澤 正	(奥出雲町・馬木小学校)
団体推薦幹事 (近畿松江工窓会)	有田 鋼司	(栄 町・雑賀小学校)
団体推薦幹事 (振商会近畿支部)	米田 稔宏	(白潟本町・白潟小学校)
団体推薦幹事 (振商会近畿支部)	前田 秀子	(東出雲町・上意東小学校)
団体推薦幹事 (皆美が丘会関西支部)	野津ゆう子	(黒田町・法吉小学校)
監 事	原 善雄	(山陰合同銀行関西営業副本部長)
監 事	田中 裕子	(石橋町・北堀小学校)
<hr/>		
顧 問	木村 恵吉	(雑賀町・雑賀小学校)
相 談 役	武田 貞雄	(雑賀町・雑賀小学校)
相 談 役	木原 貢	(宍道町・宍道小学校)

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

令和6年(2024年)9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
 ②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
 ⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
生馬小	(上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)
内中原	(殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)
城北小	(北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)
法吉小	(比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)
<石橋町>	田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市) 田中 裕子(吹田市) 山寄 麻里子(大東市)
<内中原町>	池田 喜美代(門真市) 小泉 勝是(長岡京市) 大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市) 桑原 勇(神戸市) 野口 博也(神戸市)
<苧町>	木村 滋樹(神戸市)
<砂子町>	松村 聡(高槻市)
<奥谷町>	浅沼 吉正(宝塚市)
<片原町>	村上 勝美(三島郡島本町) 土田 和男(大阪市)
<大輪町>	周藤 達夫(神戸市)
<北堀町>	伊藤 征治(奈良市) 山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市) 石賀 誠一郎(橿原市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市)
<外中原町>	森脇 泰雄(大阪市) 加藤 巡一(神戸市)
<東生馬町>	山根 武広(吹田市)
<浜佐田町>	安達 宏昭(箕面市)
<比津町>	小数賀 健二(河内長野市)
<法吉町>	景山 克雄(八尾市) 佐藤 陽太郎(京都市)
【二中校区】	
朝酌小	(西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)
川津小	(菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)
母衣小	(末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)
持田小	(福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)
<上東川津町>	井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市) 森口 次郎(京都市)
<北田町>	渡辺 悟(大阪市) 大浦 綾子(西宮市)
<末次本町>	三成 宏二(木津川市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<川原町>	鳥居 恭江(明石市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市)
<母衣町>	大野 賢造(川西市)
<南田町>	松本幸子(大阪市) 野津 博道(豊中市)
<米子町>	永瀬 光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小 (栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部) 中央小 (天神町、白瀧本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)	○平成7年4月1日 白瀧小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校
<朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町> <白瀧本町> <新町> <栄町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <寺町> <灘町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町> <和多見町>	岡 茂(大阪府豊能郡) 竹谷 曜子(大阪市) 荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市) 澄川 光成(河内長野市) 福間 則博(宝塚市) 武田 貞雄(河内長野市) 佐藤早智子(茨木市) 尾原 謙治(奈良市) 片山 伸雄(神戸市) 米田 稔宏(高槻市) 中村 博行(名張市) 有田 鋼司(大阪市) 茂居理智子(大阪市) 竹内喜次男(高槻市) 長谷川 浩之(大阪市) 鏑木 孝子(京都市) 内部 茂(茨木市) 菊池 尅雉(神戸市) 村尾 俊治(枚方市) 溝口 裕子(茨木市) 岡本 由美(伊丹市) 田中 一男(京田辺市)
【四中校区】	
古志原小 (古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町) 津田小 (東津田町、古志原一部、西津田一部)	
【湖南中校区】	○昭和50年4月1日 新設
忌部小 (西忌部町、東忌部町、玉湯町一部) 乃木小 (上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)	
<上乃木> <古志原町> <西津田> <浜乃木> <乃木福富町> <東津田町>	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 坂本 隆男(大津市) 家島 明彦(大阪府三島郡島本町) 曾田 良子(宇治市) 平山 恭子(大阪市) 藤坂 優子(泉大津市) 小瀧 翔平(伊丹市) 太田 明宏(福知山市) 酒井 祥三(尼崎市)
【湖東中校区】	○平成5年4月1日 新設
大庭小 (大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部) 竹矢小 (矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬瀧町、八幡町、富士見町)	
<大草町> <大庭町> <馬瀧町> <山代町> <八幡町>	押田 良樹(吹田市) 松尾 年浩(高槻市) 大野 徹(奈良市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【湖北中校区】	○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校 秋鹿小 (秋鹿町、岡本町、大垣町) ○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校 大野小 (大野町、上大野町、魚瀬町) 長江小 (東長江町、西長江町) 古江小 (古曾志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部) ○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町> <岡本町> <東長江町>	堀川 光子(大阪市) 和田 寛(河内長野市)
【鹿島中校区】	鹿島東小 鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部) 惠曇小 鹿島町(惠曇、手結、片匂、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部) 佐太小 鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 新宮 祐二(生駒市) 高橋 一雄(箕面市)
【島根中校区】	○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校 島根小 (島根町) ○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	小川 龍朗(京都市) 客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市)
【宍道中校区】	大谷小 宍道町(上来待和名佐地区) 来待小 宍道町(東来待、西来待、上来待) 宍道小 宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 小夜子(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 晃正(篠山市) 田中 晨子(枚方市) 小寺 紀子(伊丹市) 吉田 昭(明石市) 小豆沢 良(明石市) 阪本浩吉(枚方市) 永江 睦男(枚方市) 仲西 信子(尼崎市)
【玉湯中校区】	大谷小 玉湯町(大谷一部) 玉湯小 玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(大阪府豊能郡) 別所 裕志(高石市) 永瀬 丈嗣(茨木市) 清水 博子(堺市)
【本庄中校区】	本庄小 (手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町> <上本庄町> <新庄町> <手角町> <本庄町> <枕木町>	内田 美二(伊丹市) 松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 寺前 澄子(高槻市) 木村 修芳(枚方市) 面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市) 木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】 美保関小 (美保関町)	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校 ○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	梅木 隆志(大阪市)
【八雲中校区】 八雲小 (八雲町)	
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 葦山 泰信(川西市)
【八束学園校区】 八束学園 (八束町)	○平成23年1月1日 八束小学校⇒小中一貫教育校として発足
<八束町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(大阪府豊能郡) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】 出雲郷小 (出雲郷地区) 揖屋小 (揖屋地区) 意東小 (意東地区)	○平成23年8月1日 八束郡から松江市に合併
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市) 前田 秀子(高槻市)

■【松江市外出身の会員】	
<安来市>	石田 裕子(大阪市) 浦 晴子(吹田市) 米原 克則(宝塚市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市) 原 善雄(山陰合同銀行 関西営業本部副本部長)
<奥出雲町>	三澤 正(四條畷市)
<雲南市>	三島 学[桂弥っこ](尼崎市)
<広瀬町>	森藤 哲章(橿原市)
<隠岐郡海士町>	田黒 公司(川西市)
<隠岐の島町>	村田 貢(京都市) 本屋敷 千鶴子(西宮市)
<飯南市>	佐和田 丸(枚方市)
<大阪市>	榎本 智恵(福岡市)
<箕面市>	友田 公一(箕面市)
<高槻市>	益田 正己(松江市)
<山陰中央新報社>	高橋 賢一(大阪支社長)

■【名誉会員】	
<大阪市>	三林 京子(住之江区)

★ **近畿松江会 運営協力金をご寄付いただいた方々** (順不同・敬称略)

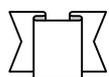
伊藤 征治・木幡 晃正・景山 克雄・高瀬 保子・神谷 紀男・阪本 浩吉・木村 恵吉
長谷川浩之・武田 貞雄・茂居理智子・渡辺 悟・宍道 弘志・田中 裕子・浦 晴子
野津 一雄・澄川 光成・田中 一男・友田 公一・松尾 年浩・伊藤 雅義・森藤 哲章
竹内喜次男・松本 幸子・曾田 良子・有田 鋼司・高橋 小梅・田部 拓生・田中 英明
岡本 由美・石倉 文行・木原 貢・小川 龍朗・福間 則博・門脇 幸夫・松本 耕司
加藤 巡一・今井 憲子・三島 学・別所 裕志・池尻 和子・藤坂 優子・鳥居 恭江
本屋敷千鶴子・竹谷 奨・山内 和美・和田 寛・福屋 篤子・押田 良樹・木村八重子
木村 滋樹・野津ゆう子・酒井 祥三・佐藤早智子・藤田 宏・平山 恭子・面白 紘
前田 秀子 以上57名

★ **総会・懇親会にご寄付いただいた方々** (敬称略)

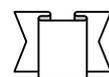
有田 鋼司・内部 茂・小川 龍朗・小川ちづる・押田 良樹・景山 克雄・柏木 薫
門脇 幸夫・神谷 紀男・北浦 和憲・木原 貢・木村 恵吉・木村 滋樹・木幡 晃正
酒井 祥三・新宮 祐二・曾田 良子・武田 貞雄・竹谷 奨・田中 英明・田中 裕子
鶴羽 孝子・友田 公一・南目 益男・野津 一雄・野津ゆう子・平山 恭子・藤坂 優子
藤田 宏・前田 秀子・松尾 年浩・松本 耕司・三島 学・茂居理智子・本屋敷千鶴子
森藤 哲章・吉田 昭・米田 稔宏・脇田 健晶 以上39名

★ **双樹学院への支援金をいただいた方々** (順不同・敬称略)

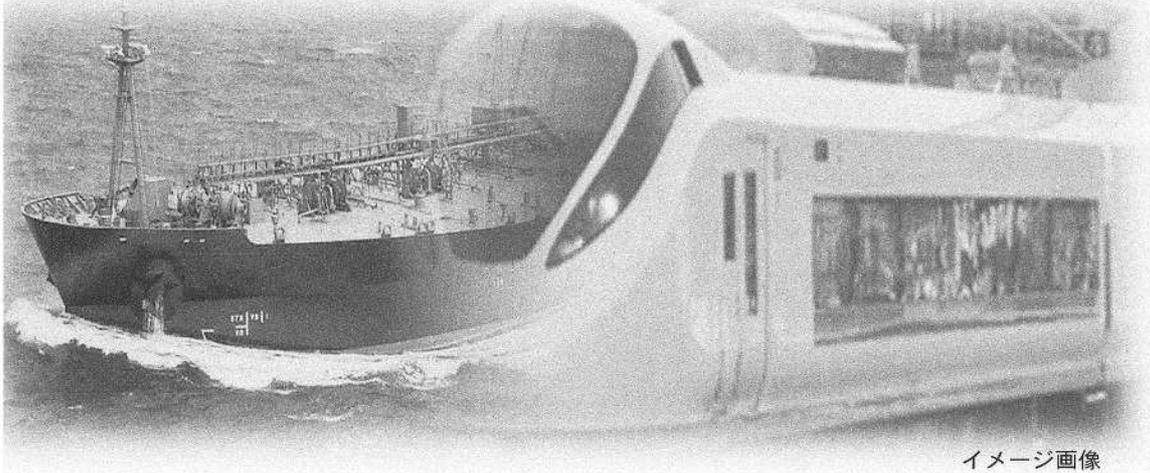
小敷賀健二・面白 紘・木幡 晃正・田中 裕子・田中 英明・景山 克雄・長谷川浩之
竹内喜次男・伊藤 雅義・藤城 坦・松本 耕司・松尾 年浩・鶴羽 孝子・木村八重子
本屋敷千鶴子・大堀 裕子・山内 和美・三澤 正・阪本 浩吉・木原 貢・友田 公一
坂井 茂子・永江 睦男・竹谷 奨・小泉 勝是・山寄麻里子・木村 恵吉・茂居理智子
松本 幸子・渡辺 悟・和田 實・森藤 哲章・曾田 良子・田部 拓生・神谷 紀男
池尻 和子・溝口 裕子・小川 龍朗・武田 貞雄・松本 育郎・小豆澤 良・三島 学
蒯田運三郎・藤坂 優子・野津 一雄・野津ゆう子・別所 裕志・門脇 幸夫・小田 一美
田黒 公司・田中 晨子・佐藤早智子・野津 博道 以上53名



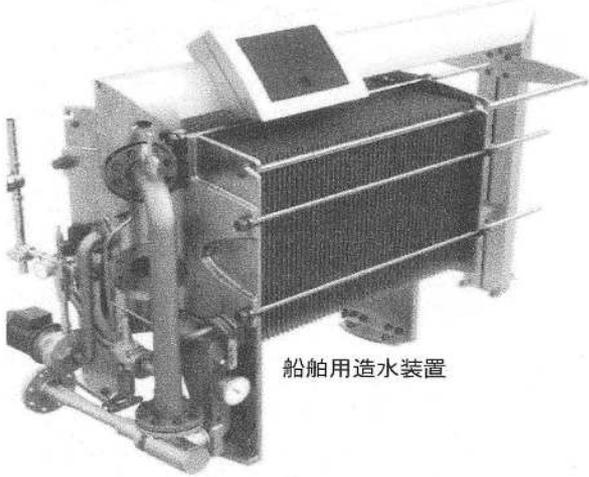
ご寄付・ご支援あらためて御礼申し上げます だんだん



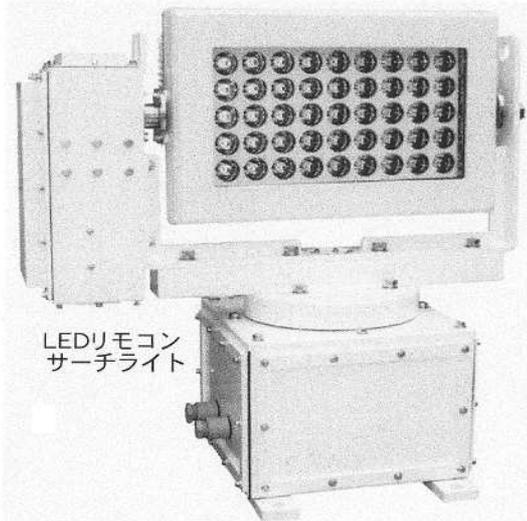
《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



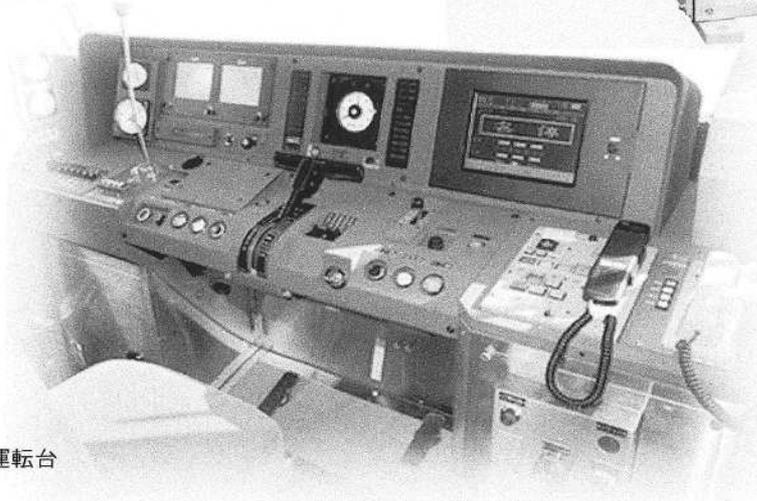
イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車両運転台

株式会社
トヨコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅昭 (高根県立松江高校 七期卒)

本 社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel.06-6443-2061 Fax.06-6443-9736
 東京支店・豊中工場

Gestaltung : K.Raum

天ぷらに、茶碗むし
お吸い物に。

茶碗むし

島根大根島

だいこん
じま

JAしまね はまぼうふう生産組合

 ELM
株式会社 エルム不動産

代表取締役 **木村 恵吉**
KeiKiehi Kimura
宅地建物取引主任 大阪第 091988 号

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室
TEL.(06)4807-7676 FAX.(06)4807-7677
携帯 080-3108-3330

 国宝
松江城
Matsuyama Castle

松江観光大使
近畿松江会 常任幹事
木幡 晃正
こわた 晃正

〒669-2231 丹波篠山市住吉台12-7
携帯 080-7985-6216

松江の観光に関するお問い合わせは 松江国際観光案内所 TEL.0852-21-4034
松江観光公式サイト [松の都松江](#)

安心・安全・殺菌・汚れ・悪臭を分解
酸化チタン光触媒合成砂トキサンドクリーン

シルテック

代表 茂居 理智子

〒543-0015
大阪市都島区善源寺町2-3-23の305号
TEL・FAX 06-6923-5511
携帯電話 090-8889-6341

 水の都 松江
Shimane Matsuyama

松江の観光情報は
水の都松江 を検索

(一社)松江観光協会 TEL:0852-27-5843

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 篠崎 治

〒650 0023 神戸市中央区栄町通4-1 11
TEL 078-341-6721 FAX 078-361-3647

その他事業所 神戸市中央区弁天町(シーガルハーバービル)
神戸市中央区栄町通(エタニティ栄町ビル)
神戸市兵庫区築地町
神戸市灘区灘浜町(シー・スクエア座席)
大阪市豊中市向丘(豊中ビル)

美味しい島根の **酒** 一期一会の **出逢い**
新鮮な島根の **魚** だんだん、だんだん **感謝**

居酒屋 **はる**

〒536-0002
大阪市城東区今福東1-10-5
今福ファミリータウン1F
☎ 06-6930-1585
最寄り駅 地下鉄 長堀鶴見緑地線
今福鶴見駅②出口より徒歩2分





松江商工会議所

会 頭 田 部 長 右 衛 門
 副 会 頭 金 津 任 紀
 副 会 頭 兒 玉 泰 州
 副 会 頭 鶴 鷯 順
 副 会 頭 太 田 敦 久

松 江 市 母 衣 町 五 五 一 四
 T E L 〇 八 五 二 一 二 三 一 一 六 一 六

堺南自家用自動車協会

専務理事 **武 田 朗**

〒 590-0157 堺市南区高尾三丁三三〇八
 T E L 〇 七 二 五 一 四 一 一 三 九 六 六
 T E L 〇 七 二 五 一 四 一 一 五 六 〇 七

山陰合同銀行 大阪支店

支店長 **嘉 本 映 子**

〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町四一ー三
 (大阪センタービル2階)
 TEL 〇六六二五二一五四〇〇
 FAX 〇六六二五二一五四〇〇
<https://www.gohin.co.jp>

TATータルプランニング
「お墓のコンサルタント」

お墓の^{いてん}移転から^{こんりゆう}建立・^{ほまいほう}墓理法に関する
 こと等なんでもご相談に応じます

代 表 竹 谷 獎

〒 543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34
 TEL 090-3054-9159
 Email : osktake@ff.ii4u.or.jp



西松建設グループ
西松地所株式会社
 関西支店 営業課

課長 **景 山 克 雄**
 一級建築士

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目14-16
 西天満パークビル3号館 9階
 TEL : 06-6131-2023
 FAX : 06-6131-2032
 携帯 : 080-1456-9273
 E-mail : kageyama-999@n-jisho.co.jp





ご優待 10% off

TABELLINZ
 TABELLINZ
 KANKAWAKACHI-HUO

タッセルホテル三楽白川
所在地 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

タッセルイン京都河原町二条
所在地 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

QRコード
 BRAND HP

※1 本都府内では自営ホテルを運営しています。個人会の皆様向けに優待プラン(予約時HP価格の10%off)をご用意しました。この機会に是非ご利用ください。
 ※2 本都府内以外にお電話をおかけください。

西松建設グループ
西松地所株式会社 関西支店 景山 克雄(副専務取締役)
 TEL : 06-6131-2023

近畿松江会

会長 松本耕司

〒573-0049

枚方市山之上北町20-34

TEL 090-6609-8817

近畿松江会

副会長 松尾年浩

〒569-1029

高槻市安岡寺町3-14-6-404

TEL:090-8656-9179

mail :nen.matsuo@ever.ocn.ne.jp

近畿松江会

顧問 木村恵吉

〒565-0824

吹田市山田西1-18-2

TEL:080-3108-3330

mail :ckgma740@sutv.zaq.ne.jp

近畿松江会

相談役 武田貞雄

〒586-0042

大阪府河内長野市日東町271

TEL:090-8195-6926

□ 事務局から“お知らせ” □

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

当会は会員数を増やすことを最大の課題とし、令和5年4月より松江市内に在る高校の同窓会（松江北高校：双松会・松江南高校：関西矢の原会・松江工業高校：近畿松江工窓会・松江商業高校：振商会近畿支部・旧松江女子高：皆美が丘会関西支部）より推薦幹事をお迎えし取り組んでいます。松江東高校も同窓会が組織されつつあるとのことで加わっていただけると嬉しいにですが、皆様も高校の同期、職場での同期など松江市に係る方があろうかと思えます。是非会員増にご協力ください。

メールアドレス登録のお願い

各種情報やホームページの更新などいち早くお伝えいたしたく、会員各位のメールアドレスの登録をお願い致します。アドレスはスマートフォン・パソコンいずれからでも結構です。近畿松江会 HP からはアクセスのうえ「登録はこちらから」をクリックし登録ください。

当会のホームページをのぞいて下さい

<http://www.kinki-matsuekai.jp/>

ホームページにはいろいろなコーナーを設置し、日々情報を発信しています。

○**お知らせ**の『会員作品コーナー』にあつては、木村恵吉顧問に季節、季節の写真をはか会員より写真絵画など投稿していただいています。会員の皆様も掲示板への投稿はもちろん写真絵画・手作り作品・ガーデニング等々発表してください。

「松江へ帰ったら、懐かしい風景があった」なんてなど是非紹介下さい。

□ 編集後記 □

近畿松江会は18周年を迎えましたが会報は第1号が平成20年発行、見送り1回で第15号。初年度より14回続いた総会は令和2年から4年までの3年間をコロナ休会し今年度は第16回となりました。今後は禍もなく発行、開催が続けられることを願うばかりです。

さて 寄稿集“松江だんだん”(わが町)は今号、2名執筆をいただきました。あらためて御礼申し上げます。あなたの町を是非ご紹介ください。次は貴方の出番ですよ。

また 市報松江「松江の皆さんこんにちは」(1月号・5月号・9月号)へ投稿希望のかたは事務局へご連絡下さい。

表紙(写真)について

総会・懇親会において講演いただきましたテーマのうち、観光基本戦略の五つ目の主要政策である「食と特産品の磨き上げ・高付加価値化」の説明映像に用いられた茶の湯・和菓子・しじみ・割りご蕎麦・吊るし柿。以外にたくさん誇れるものがありますが・・・

事務局長 竹谷 奨

近畿松江会 会報 第15号

■発行:令和6年10月(2024年)

■発行者:近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 FAX:06-6777-2990 E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp